

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2018.05.22

京大病院医療安全情報102

【ICUにおける医療者間の情報共有】

事例

ICU看護師が担当患者のカルテを確認していたところ、併診科医師が「RBC輸血を依頼」と記載し、主科がRBCのオーダーをした記録を発見した。しかし、主科よりICU医師・看護師に輸血をする旨の指示や伝達がなく、看護師がカルテで輸血方針であることに気づかなければ、投与されていない可能性があった。

ICUにおいて 医療者間の情報共有は非常に重要です

ICUは様々な診療科が利用します。

一部の診療科を除いて、ICUでは麻酔科医師が患者の全身管理を行い、指示全般を出しますが、疾患に対する治療方針の決定は主科が行います。また、重症な患者さんの場合、複数の診療科が関わることもあります。

GAIA
指示



KING
治療計画



カルテ記載だけでは情報共有しにくい環境にあります

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報102

診療に関わる指示や伝達は、 カルテ記載だけではなく ICU（麻酔科）上級医に連絡する

ICUでは日々刻々と患者さんの状態は変化します。
治療の最終判断は上級医が行うため、研修医を通さずにICU上級医に連絡してください。



情報共有
「ひと声かける」が
第一歩！

今年度の医療安全重点対策項目は
コミュニケーションです。



平成30年度
医療安全
重点対策項目
コミュニケーション

医療安全管理室作成